

様式 A-1

平成 28 年 7 月 14 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 茨城県立竹園高等学校 宮内 和広
2. 講師氏名: Dr. Benjamin Outram
3. 同行者氏名: なし
4. 実施日時: 平成 28 年 7 月 14 日 (木) 16 :00 ~17 : 30
5. 参加生徒: 1_年生 10人、 2_年生 7_人、 3__年生 6__人 (合計 23_人)
備考: (例:理数科の生徒) 受講を希望した生徒
6. 講演題目: (英文) The Future of Virtual Reality
(和文)
7. 講演概要: 自分が研究者を目指した動機、イギリスの大学について、イギリスという国について、勉強する意味、大学の時に専門としていた液晶について、現在のバーチャルリアリティの研究について
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 60 分 質疑応答時間 30 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクタの使用
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
なし。質問の時に研究者自ら日本語で質疑応答した。
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
なし
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
11. その他特筆すべき事項: 大変良い内容でした。ありがとうございました。